

養老町下水道事業経営戦略（案）パブリックコメントの結果について

受付期間：令和8年1月23日（金）～令和8年2月20日（金）

ご意見：2件

※意見の概要につきましては、要約していますのでご了承ください。

また、同様の内容については、意見を集約させていただいています。

意見の概要	町の考え方
当分、現状維持に則り箱物は作らず、計器の温存してください。	下水道事業経営戦略（案）は、施設の老朽化が進んでいる状況の中、今後施設の更新計画を策定し、下水道施設の計画的な維持、修繕及び更新に努めて行く計画となっております。
特別会計だけの運用ができない、いわゆる赤字の改善が見込めない事業なので、経営戦略を抜本的に見直すべきです。そのために健全な下水道事業としてあるべき姿・将来像を示すのが経営戦略と思います。恒常的な赤字を許容し、抜本的な方針がない経営戦略を作成しても意味がありません。早期に損切に舵を切るような大胆な戦略を求めます。	下水道事業では、町民生活の住環境を守るため、既存施設の維持・修繕を実施するなど適切な管理に努めることが重要であると考えております。そのため、下水道事業経営戦略（案）では、維持管理費に加え今後10年間の施設更新に要する費用を算定したうえで、国が求める経費回収率の向上に向けた投資財政計画及びロードマップを作成しました。安定した事業運営を行っていくため、引き続き経費削減に努めるとともに、下水道使用料等の適正化についても検討してまいります。皆様には、ご理解いただけますようお願いいたします。